【 診療科：消化器外科 】
【 レジメン登録番号：SG-38（変更） 】

〈 ベバシズマブBS+XELOX療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール（day）												
			1	2	3	4	・・・・・	14	15	・・・・・	28				
ベバシズマブBS	5mg/kg	div	○						○						
オキサリプラチン	85mg/㎡	div	○						○						
ゼローダ	BSA≦1.2㎡ 2,400mg/day, BSA＞1.2㎡ 3,000mg/day	p.o.	夕			←継続投与→			朝						

【1コース期間： 28 日】　　【総コース数： 5～6コース および 効果があればPDとなるまで】

【適応癌種： 術後転移再発StageⅣおよびStageⅣ切除不能・進行 結腸・直腸癌 】

【時期： 術前 、 術後 、 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	YDソリタT3 200mL	div（50mL/h）
Rp.2	5-HT_3R Blocker 1A	div（全開）
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	ﾍﾞﾊﾞｼｽﾞﾏﾌﾞBS 5mg/kg	div
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	オキサリプラチン 85mg/㎡	div（120分で）
	5%ブドウ糖液 250mL	

※初回90分、2回目は60分でも可。
3回目以降は30分でも可。

【参考文献： Phase Ⅰ/Ⅱ Study of Capecitabine Plus Oxaliplatin(XELOX) Plus Bevacizumab As First-line Therapy in Japanese Patients with Metastatic Colorectal Cancer ～Japanese journal of clinical oncology 】

【備考①： UFT/Uzel+CPT-11による補助化学療法後の術後転移/再発StageⅣ
およびstageⅣ切除不能・進行再発結腸・直腸癌に対して実施する。 】

【備考②： ゼローダ投与はday1夕食後～day15朝食後 】

【変法情報： 】

東海大学八王子病院